

# みなとつぷ

Takanawa  
Community News Magazine

## 高輪地区情報紙

2014年11月  
Vol.25

三田4・5丁目・高輪  
白金・白金台

発行：高輪地区総合支所 協働推進課  
編集：みなとつぷ編集室



表紙絵 東京大学医科学研究所正門（白金台）  
【作者】洋画家・立軌会同人 阿部 慎蔵さん（白金在住）  
イカケン（東京大学医科学研究所）正門。私が子供の頃はデンケン（伝染病研究所）と言いました。銀杏の木はいつも立派です。

## CONTENTS

### 2 大使館を訪ねて

ウズベキスタン共和国大使館  
ファルフ・トゥルスノフ大使



### 3 街が変わる

田町・品川駅間新駅について

### 4 地域のあしあと

今に残る江戸の建造物①

### 6 地域で活躍する 若者たち

東海大学  
Takanawa  
共育プロジェクト

### イベント豆知識

義士祭（泉岳寺）

### 7 子どもみなとつぷ 編集室

たかなわフェスティバル

### 8 区からのお知らせ

## 夢の「百歳」を目指して

七返起八

他人事と想っていた「卒寿」を越して現在九十二歳、我ながら驚きです。いろいろな人生体験をしてきました。戦争に従軍中、何度も死に直面したこともあり、まさに「七転び八起き」の人生です。今回は、楽しい思い出を一つご披露したい。

古い話で恐縮ですが、私が三光小学校の二年生のときに、父と一緒にケーブルカーができたばかりの高尾山に登り、山頂に出た時の思い出を、綴り方の授業で「山びこ」という詩にしました。

「お父ちゃん！あれは何の声だ」「あれは山の声だよ、高い高い山の声だよ、山びこ言うんだよ」と、父との会話をもとに、詩にしたのが私のつくった童謡詩の第一号でした。これに、唱歌の野村かずゑ先生が曲をつけてくださいました。この「山びこ」の歌が好評で、その後も何回も学校で歌いました。やがて、芝区役所の三階にある公会堂でも歌いました。数日後に唱歌の先生から「明日も行くよ」と声をかけられ、佐久間善美校長先生も同行して、日比谷公会堂に連れて行かれました。「東京市十五区小学生徒発表会」と看板がありました。へあの声何の声 あの声山の声 高い高い山の声 山の上に行ったらば 青い空があるばかり！二番まで歌い、持ち切れない程のご褒美を頂いて帰って来た事を昨日のこの様に覚えています。昭和五年三月、日比谷公会堂開幕記念行事の一幕でした。

その後、戦地から復員して、あの荒んだ時代に私の気分も荒れそうになったとき、童謡詩をつくることに気がつきました。童謡作家中村雨紅先生について、童謡詩の勉強をしましたが、その雨紅先生が「起八さん、オキハチさん」と呼んでくださった「七返起八」というペンネームは今でも使っています。作詩は、私の生きがいの一つになっています。

泣いて笑って九十二が過ぎた

未だ未だ遠い「百」は夢（平成二十六年長月）

（担当／渡邊）

# 大使館を訪ねて

## ウズベキスタン共和国大使館 港区高輪2-1-52

中央アジアで最も人口が多い国ウズベキスタン。長い歴史のある国でかつては、シルクロードの中継地、オアシス都市として、栄えていました。1991年旧ソ連から独立し、風格ある独自の文化を維持しています。中央アジアには、「～スタン」という国がいくつかありますが、ペルシャ語で「～の国」という意味です。

大使館は高輪2丁目の閑静な住宅地の一角にあります。ファルフ・トゥルスノフ大使にお話を伺いました。



# Uzbekistan

### 晴れの日が多く、美味しい果物が沢山とれます

我が国は、典型的な大陸気候。乾燥していて、昼夜の寒暖の差が激しいです。以前、北海道に行った際、ある市長さんから、除雪費がかかって大変という話をお聞きしました。ウズベキスタンでは、雪はとても貴重で、水資源として有効活用しています。雪を取り除くのに、多額の費用をかけるという話に、とても驚きました。

一年のうち300日位晴れていて、空気が澄んで青空がとてもきれいです。

ブドウ、メロン、スイカ、アプリコット、りんごなどの果物が沢山とれ、ワイン、ドライフルーツも多く生産されており、どれもとても美味しいですよ。

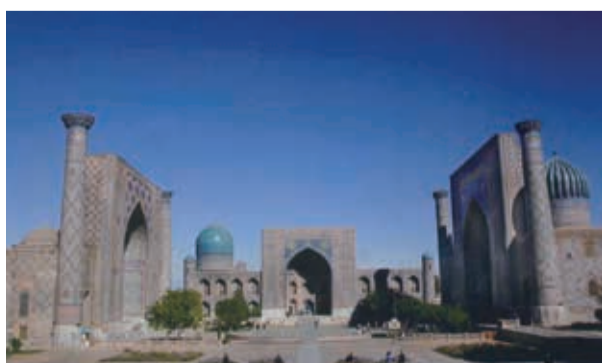


ワイン等の酒類と美味しいドライフルーツやナッツ

### ウラン・金などの天然資源が豊富です

天然資源（天然ガス、ウラン、金など）が豊富にあり、資源を使った工業化にも取り組んでいます。外国企業との提携で、近代的な自動車工場も稼働しています。日本企業の進出、大歓迎です。

鉄道は、国内の多くの街を結んでいて、タシケントーサマルカンド間には高速鉄道も走っています。中央アジアで初めて設置された地下鉄は、現



サマルカンド(世界遺産)

ティムール帝国の繁栄を今に伝える。澄んだ青空とモスクの色から、青の都と呼ばれる

ウズベキスタンの国の色である青、白、緑を多用している。国章の向かって左側が綿花、右側が小麦を表している。綿花と小麦はウズベキスタンの主な農作物である。



ウズベキスタンの国章



Mr. Farrukh Tursunov  
ファルフ・トゥルスノフ大使



面積：44万7400km<sup>2</sup> (日本の約1.2倍)  
人口：約3000万人 (多民族国家で、100近い民族が住んでいる)  
首都：タシケント  
言語：ウズベク語 (都市部では、ロシア語も多く使用されている)  
宗教：主としてイスラム教。他にロシア正教など

在、タシケントに3路線あります。駅それぞれテーマがあり (駅名を芸術家の名前にするなど)、テーマに沿った内装を施したりして、おしゃれな路線もありますよ。

ウズベキスタンの平均的家族の人数は、5～6人です。30歳以下の若い人が人口の65%を占めており、豊富な労働力があります。

### 二重内陸国ならではの悩みがあります

世界に2つしかない二重内陸国\*なので、海運が利用できず海外との貿易が困難な点があります。

旧ソ連時代には、アラル海に注ぐ川の流れを変えて、農業用水として取水し綿花栽培を奨励したことがあり、その影響でアラル海が半分になり、地域の砂漠化を招くなど環境破壊をおこしました。今は、綿花栽培は、一定量に制限されています。

### 国技のクラッシュは柔道に似ている点があります

スポーツは、サッカーが、とても人気があります。レスリングも盛んです。クラッシュという格闘技 (国技) は、いわば寝技のない柔道のように胴着も似ており、日本にとってもつながりを感じます。ウズベキスタンの人は、勤勉、真面目で、日本人に似ていると思います。日本語を勉強している学生も多いですよ。

日本からは、空路で成田から週1～2便、直行便がでています。シルクロードの心臓部と言われているウズベキスタンに是非一度、いらしてください。



ブハラ(世界遺産)

紀元前5世紀ごろからオアシス都市として発展。中央アジアにおけるペルシャ文学の中心都市だった

#### \*二重内陸国

国境を2つ越えないと、海に達しない国。現在、世界ではリヒテンシュタイン公国と2か国のみ。



ノン

ウズベク人の主食。丸く平たい形をしている。地域により、種類の違うノンが作られている。サマルカンドのノンはとても有名



プロフ

肉、野菜などを炒め、独特の香辛料を加え、米とともに炊き上げた料理。結婚式や誕生日に欠かせない



サムサ

小麦粉で作った生地肉や野菜を詰め、蒸す焼くなどしたミートパイの一種



ウズベキスタンの民族衣装

### 高輪のまちがとても気に入っています

高輪は、緑が多く静かで、なおかつ便利とても気に入っています。高輪に大使館を開くことができ、とてもよかったですと思っています。

### 平和が何より大事です

日本とより深い友好関係を築きたいと思っています。いつも心に抱いている思いは、平和です。我が国は、過去に幾多の困難な時代を乗り越えてきました。平和と安定を切に願っています。

### 取材を終えて

トゥルスノフ大使 (41歳) は、若くパワフルな方で、我々のいろいろな質問に丁寧に答え、熱く語って下さいました。若い人が人口の大半を占めるというお話に驚きました。これから大いに発展することが期待される国なのではないかと思いましたが、あまり知らない国であったのに、身近なとても興味深い国となりました。

(担当/滝川、森、安藤)

# 街が変わる

## 田町・品川駅間新駅について

いよいよ、田町・品川駅間に新駅ができることが正式にJR東日本から発表されました。同時に、品川車両基地を移転し、創出される約13haの大規模用地について、まちづくりの検討を進めています。高輪地区は、新駅設置と大規模な開発により、大きく変貌していくことが予想されます。地域の住民も期待と不安が入り混じった気持ちです。そこで、みなとっふ編集メンバーは東日本旅客鉄道株式会社総合企画本部品川・大規模開発部の方からお話をうかがうことにしました。

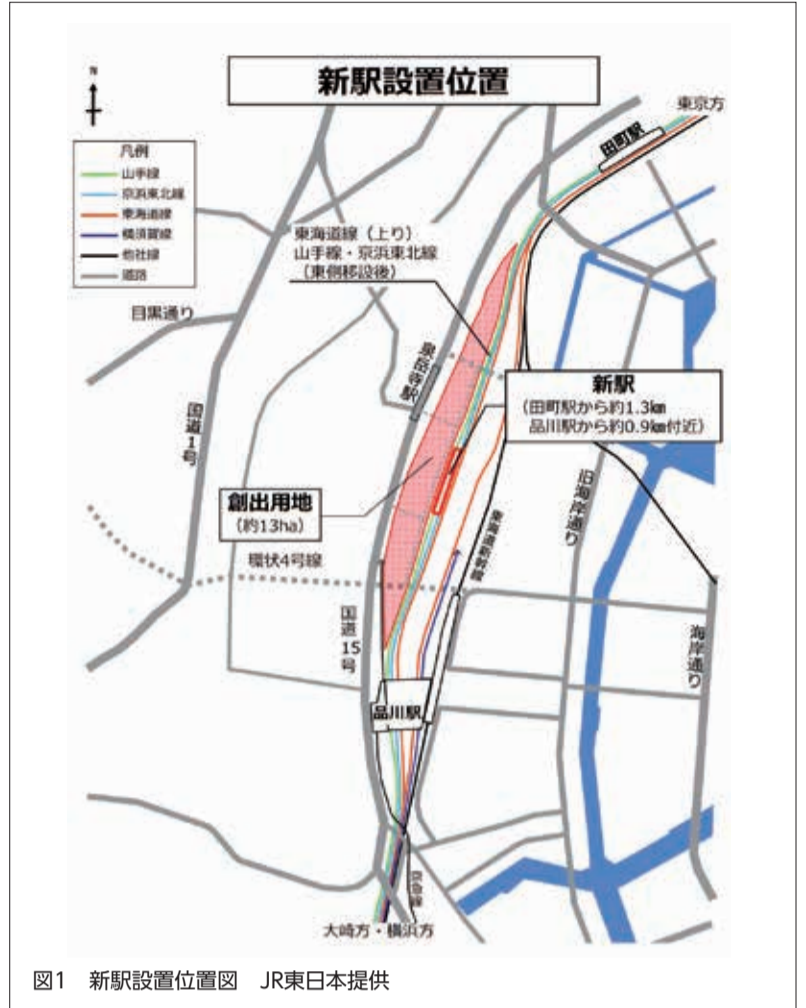


図1 新駅設置位置図 JR東日本提供

### 1 新駅の概要

- 設置位置 (図1参照)  
田町駅から約1.3 km、品川駅から約0.9 km、都営泉岳寺駅から300m。
- ホーム形態  
線路別島式2面4線  
(山手線と京浜東北線のホームが別になる。)
- 開業時期  
2020年の東京オリンピック・パラリンピックに合わせた暫定開業。
- 形態的特徴・イメージ (図2参照)
  - ① 大屋根で駅を覆い、まちとの一体感を演出。
  - ② 歩いて快適な水・緑のうるおい空間とふれあい広場がある。
  - ③ ホームの上の一部が吹き抜けとなっており、ホームから街のにぎわいが感じられる。

### 2 まちづくりのコンセプト

- 世界中から企業と人材が集い、多様な交流から新しい価値が生まれる国際的交流拠点を形成する。
- 新駅前には、人・駅・街・地域をつなぐにぎわいと魅力ある人中心の広場空間(2階レベル)を創出する。
- 目指すべき将来像は国、東京都、関係区等と検討しながら進める。
- 車両基地跡地13haの開発については、オフィスだけでなく住宅、商業施設など複合用途の開発とすることを検討中。
- 歴史・文化が感じられ、歩きたくするような自然豊かなまちづくりを目指す。
- 地域の環境に配慮し、夏のヒートアイランド現象が助長しないよう海からの風の道を確保する。

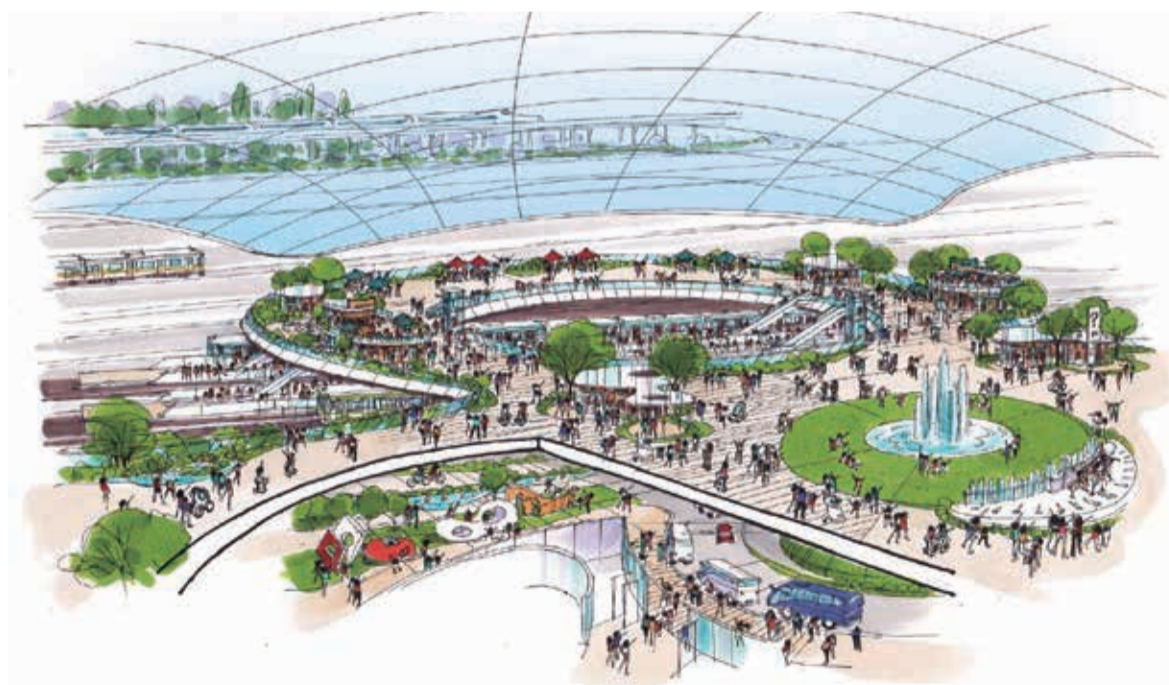


図2 新駅イメージ図 高輪地区方面から港南方面を見る JR東日本提供

### ヒアリングを終えて

新駅は、品川駅と共に羽田空港にアクセスしやすく、リニア中央新幹線の発着駅にも近く、首都圏と世界、国内の各都市をつなぐ広域交通結節点として役割が強まることが考えられます。それに伴い、高輪地区全体に多くの外国人、観光客、ビジネスマンが行き交う街に変貌していくことが予想されます。一方、歴史的・文化的遺産が多く残されている、緑が多くあり環境に恵まれているなどの高輪地区の特徴が失われないような街づくりが求められます。



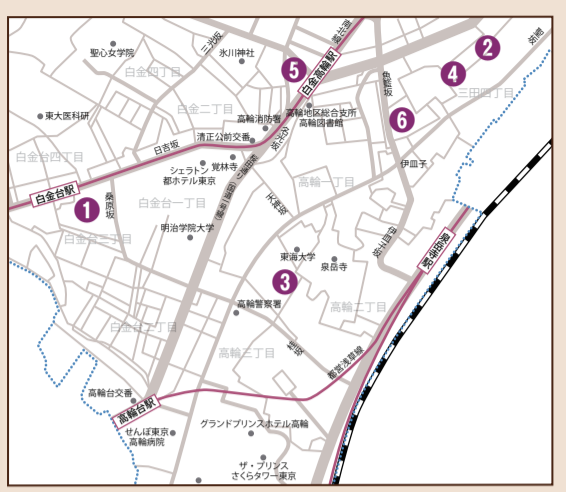
図3 現況俯瞰写真(平成26年9月撮影)

(担当/安藤、吉田、河井、森)

# 地域のおしあと

## 今に残る江戸の建造物

今号では、高輪地区に今なお残る江戸時代に建てられた建造物を紹介します。この地区は寺町といわれるだけあって全てお寺の中にある建造物ですが、こんなに沢山、江戸の面影を残す場所があるのかと驚きました。江戸の人々はどんな思いでお寺の門をくぐったか等、想像して当時の人々と空気を共有してみませんか。



### 高輪地区の2つの寺町

この地には2ヶ所の特徴的な寺町が存在する。三田と高輪二本榎周辺の寺町である。三田の寺町は計画的に造られた寺院街だった。参勤交代制で沢山の大名の邸地を必要としたために移転させられ大挙転入してきた。高輪の寺町は明暦の大火<sup>1</sup>後の市街地整備により移転してきた寺院が多い。どの寺々も、かつては広大な寺域を有していた。

## 1 瑞聖寺【大雄宝殿】【門】 白金台3-2-19

1670(寛文10)年、この地に創建された江戸で最初の黄檗宗寺院。黄檗宗は、明の僧隠元が伝えた禅宗の一派。江戸時代には新規の宗旨が一切禁じられた中で唯一の新宗派となる。

**大雄宝殿**  
木造平屋建  
国重要文化財  
創建以来二度罹災<sup>2</sup>し、1757(宝暦7)年再建、明の様式で寺格にふさわしい雄大な規模を持つ黄檗建築の仏殿



**門(旧裏門)**  
切妻造棧瓦葺の高麗門<sup>3</sup>  
木造平屋建で19世紀中期に建造。古くは目黒通りに位置していた

## 3 承教寺【山門】【仁王門】【鐘楼】 高輪2-8-2

開創地、芝西久保から1653(承応2)年、現在地に移転した。日蓮宗のお寺で池上本門寺の末寺である。18世紀に建立したと伝わる、山門、仁王門、鐘楼は延享2年の大火<sup>4</sup>で類焼を免れ現存している。また、日蓮宗の信者であった絵師英一蝶ゆかりの寺院であったことから英一蝶筆の釈迦如来像(寺宝)と英一蝶の墓(都旧跡)があり、共に文化財となっている。



**山門**  
木造平屋建  
薬医門<sup>5</sup>で現在は鉄板葺である



**鐘楼**  
木造平屋建  
養股<sup>6</sup>に刻まれた軍配



**仁王門**  
木造平屋建  
三間一戸の八脚門<sup>7</sup>で、朱塗が施される

## 2 明福寺【本堂】【山門】 三田4-4-14

真宗大谷派の寺。1615(元和元)年に「桜田付近」に起立。麻布に移転後、1799(寛政11)年に、現在地に本建物を建造。山門は三田中寺町通りに面して建ち、本堂内部の内陣は、欄間に獅子と牡丹の彫刻が施され、襖絵と共に、華やかな中に荘厳な美しさを感じさせる。



**本堂** 木造 寄棟造棧瓦葺



**襖絵**  
滝で遊ぶ唐獅子がダイナミックに描かれた襖絵は、江戸狩野派の作品で、港区の文化財に登録されている

## 4 實相寺【本堂】 三田4-12-15

知恩院末の浄土宗で、僧貞岩が開山し1611(慶長16)年八丁堀に創建、江戸城拡張工事のため1635(寛永12)年現在地に移転。ご住職のお話では、陸奥会津藩祖保科正之(第2代将軍徳川秀忠の四男・保科家のちに松平姓となる)が江戸の会津松平家の菩提寺として取決めたそうで、第2代藩主正経の生母聖光院(於万の方)により、本堂が整えられた。



**本堂・内陣**



**本堂**  
本堂 寄棟造棧瓦葺  
内部には随所に会津松平葵紋があり、隅々まで荘厳さと品格を感じさせられる寺である

## 5 松秀寺【山門】【水舎】 白金2-3-5

創建地の下高井戸から1752(宝暦2)年にこの地に移転した時宗の寺院。山門、水舎は19世紀初頭の建立と推察される。山門に寺院の称号(山号)である冬嶺山の扁額<sup>8</sup>をかかっている。山門を潜ると右手に、当時全国を行脚したといわれる時宗の開祖である一遍上人の銅像がある。



**水舎**  
桁行2間、梁行1間の規模で、二つの水盤を設ける。規模も大きく装飾を凝らした水舎



**山門**  
木造平屋建  
一間一戸の薬医門で屋根は切妻造本瓦葺

## 6 魚籃寺【山門】 三田4-8-34

浄土宗の寺院で魚籃坂に面している。本尊が現在地に祀られたのは、1630(寛永7)年とされている。本堂は、弘化2年の大火<sup>9</sup>で類焼。現存の建物は、1903(明治36)年に再建。



**魚籃観音**  
魚を入れた竹籠(魚籠)を掲げる乙女の姿の仏像。このお姿から、古くから大漁祈願、海上安全などを祈願する人が多い



**山門の一部**  
絵様は19世紀前期の特徴を示す

**山門**  
木造平屋建 切妻造棧瓦葺  
19世紀前期の建造で、弘化2年の大火<sup>9</sup>を免れ、平成2年に一度改修。格式が高いとされる赤門で、ご住職のお話によると、徳川将軍家とのかわりて許されたものとのこと

<sup>1</sup> 明暦3(1657)年1月18日 揺榎火事  
江戸市街の大部分を焼き、江戸初期の町の様相は失われた。復興にあたっては、道幅・町家の規模を統一し、市街を整備して火除けの広小路を設け、本所・深川にも市街地が拡大された。  
<sup>2</sup> 延享2(1745)年2月12日 六道火事  
青山六道辻から出火し、北西風にあおられ、広範囲に燃え広がる。麻布・芝・品川に延焼。  
<sup>3</sup> 弘化2(1845)年1月24日 青山大火  
青山権田原付近の同心宅から出火。麻布・白金・高輪付近まで延焼。覚林寺に犠牲者の供養塔がある。

<sup>4</sup> 近世の城において、枳形の城内側または大名屋敷の主要な入口に設けられている門形式の一つ。  
<sup>5</sup> 山門…山門の称は寺院が山号をもってのいたに基づく。  
<sup>6</sup> 仁王門…一對の阿・吽形の金剛力士(仁王)像を安置する門。  
<sup>7</sup> 薬医門…鎌倉末期から室町初期の武家または公家の屋敷などに現れた門形式の一つ。後に城郭や社寺などにも使われるようになった。  
<sup>8</sup> 八脚門(八定門)…控柱が本柱の前後に各4本、計8本ある門のこと。  
<sup>9</sup> 養股…二つの水平材の間におく束の一種で、上方の荷重をささえるとともに装飾ともなる。カエルが脚を広げた姿に似ているところからこの名がある。  
<sup>10</sup> 扁額…門戸や室内に掲げる横に長い額。  
<sup>11</sup> 建築大事典 第2版 普及版 (彰国社・1993年6月10日発行) より引用 \*\* 大辞林 第3版 (三省堂・2006年10月27日発行) より引用

**取材を終えて**  
“火災には一番気をつけている” “過去帳を燃やしてしまったら大変” “お寺を無事次代に引き継げるよう、毎日心を砕いている”  
どのお寺も異口同音、このようにおっしゃいました。それだけ気概を持ってお寺を守っていらっしゃるのだと感動しました。だからこそ江戸のものが今この時まで残されてきたのでしょう。私たちが共に守っていかなくてはならない宝物だと思いました。  
**お寺を訪ねる際は、お寺の方にひとこと声をかけるようにしてください。**

<参考文献>「港区の歴史的建造物」三田寺町の江戸建築(港区立港郷土資料館) / 「角川日本史辞典」(角川書店) / 「図説 歴史散歩事典」(山川出版社)

# 地域で活躍する若者たち

## 地域に密着！ 東海大学 Takanawa共育プロジェクト

東海大学の高輪キャンパスでは、地域の人たちと連携して様々な活動をしているグループがあります。その名もTakanawa共育プロジェクト。学生たちの中心として活動しているリーダーの情報通信学部3年鈴木琢也さん、サブリーダーの同3年池本昌史さん、そして、プロジェクトアドバイザーである福崎稔教授にお話を聞いてきました。



### 若者の参加でさらに盛り上がる高輪神社祭礼

神輿を担ぐ学生たち。最初はTシャツ姿でしたが、初参加から4年が経ち今では東海大学の学校名入りの半纏を着て参加することが許されるようになりました。



リーダーの鈴木琢也さん(右)  
サブリーダーの池本昌史さん(左)

「学校の近くを歩いていると地域の方に声をかけられることが多くなりました。地域の方とのつながりが増えていく楽しさを実感しています」とうれしそうに話してくれました。



### テニススクールに応募者がたくさん!

テニス部の学生が地域に貢献したいという思いから月に1回開催し、小学生からお年寄りの方まで参加しています。大好評につき、今では午前と午後の2部開かれるようになりました。



### きれいな心できれいな街を

高輪警察署を中心として結成された「高輪ピーボース」の清掃活動に参加しています。地域のパトロールも兼ねたこの活動、すれ違う方々との挨拶も広がります。

### 地域と「共に育む」学生たち

地域の人たちに喜んでもらおうとクリスマスイルミネーションを始めた学生たち、お祭りが大好きで高輪地区のお祭りにも参加していた福崎教授、2つの思いが出会ったことをきっかけとして、Takanawa共育プロジェクトがスタートしました。「共に育む」を合言葉に地域の方々との交流が始まり、それが現在の多岐に渡る活動に繋がっているのです。

“地域のために”と始まったこの活動ですが、一生懸命活動をしている彼ら自身にも喜びや学び、気づきがあったようです。理系学部で学ぶ学問の知識も活かしながら地域で活躍するTakanawa共育プロジェクトの学生たち。読者のみなさんも、どこかで彼らと出会うかもしれませんね。彼らの地域での活躍に注目しましょう。



### 輝く瞳 被災地の子どもたち

宮城県気仙沼市の小学校で実施した実験教室。子供たちの興味津々な様子が伺えます。その他にも古い神輿の修復費用募金等、様々な被災地の支援活動をしています。

(担当/増田、土屋、梶、安藤、明石、本城)

## イベント豆知識



イベントをより楽しむための豆知識のコーナーです。今号では、みなさんにも馴染みの深い「義士祭」を、色々な視点から眺めてみました。



### 嵐の前の静けさ

義士祭の前日になると、浅野内匠頭と四十七士の墓前に花が手向けられます。当日の混雑を思うと、まさに嵐の前の静けさですね。



### 残った灰が人気のあかし

四十七士の墓前には夜まで長い列ができ、時として境内の外まで続くことも珍しくありません。毎年祭りのあとに、人気No.1の大石内蔵助の墓には線香の灰が山のように残されるそうです。

### 「義士祭」こぼれ話

毎年12月14日、泉岳寺で行われている「義士祭」。一日で2万~3万人が訪れる「義士祭」も、裏では多くの人々が支えています。少し角度を変えると色々なものが見えてきます。皆さんも新しい発見をしてみたいはいかがですか。



### 入魂の曲がり角

義士行列は義士祭には欠かせないものです。着付けに手間がかかる火事装束や刀を身に付け、中央区役所前を出発し約6キロのコースを歩いてきます。「第一京浜(国道15号)から泉岳寺方向への角を曲ったとたん、義士達の魂が乗り移るのか、涙がこみ上げてくる」と聞きました。



### 全国に広がる学僧OB

泉岳寺には創建以来の家風を引き継ぎ、今も大学で仏教を学びながら修行を勤めている学僧がいます。義士祭の日には、そのOB達が全国から応援に集まってきて行事を裏から支えています。どうやら御朱印所も大忙しのようです。



### 緑の下の力持ち

高輪消防署と高輪警察署はもとより、高輪消防団の皆さんが当日の警備を担当しています。安心・安全を本当にありがとうございます。

(担当/本城、土屋、梶、増田)



# 子どもみなとっぴ

編集室



たかなわフェスティバル

11月8日(土)に行われた「たかなわフェスティバル」では、6人の子ども記者が取材をしてきてくれました。2人1組のグループに分かれ、協力してお話を聞いたり、写真を撮ったり、文章を考えたりしている様子はまるで一人前の記者のよう!!編集長から任命書もらい、お揃いの腕章を付けた記者たちの元気いっぱい取材に、インタビューを受けた方たちも思わず笑顔になってしまいました。実際に見て、聞いて、体験しての全力取材。いったいどんな記事になったのでしょうか?



Bグループ



めだか楽団のみなさん  
めだか楽団のみなさん  
何か楽団のみなさん  
何か楽団のみなさん  
何か楽団のみなさん  
何か楽団のみなさん  
何か楽団のみなさん  
何か楽団のみなさん  
何か楽団のみなさん  
何か楽団のみなさん

## グリーンミュージック新聞

グリーンミュージック新聞  
グリーンミュージック新聞  
グリーンミュージック新聞  
グリーンミュージック新聞  
グリーンミュージック新聞  
グリーンミュージック新聞  
グリーンミュージック新聞  
グリーンミュージック新聞  
グリーンミュージック新聞  
グリーンミュージック新聞



めだか楽団のみなさん  
めだか楽団のみなさん  
めだか楽団のみなさん  
めだか楽団のみなさん  
めだか楽団のみなさん  
めだか楽団のみなさん  
めだか楽団のみなさん  
めだか楽団のみなさん  
めだか楽団のみなさん  
めだか楽団のみなさん

●白金高輪グリーンミュージックフェスティバル 深沢華音記者(小3)、日下健記者(小4)

Aグループ

むかしあそびをやってきは  
2し。るいある(こまあそび)(けんた  
まあそび)(つりぼり)つりぼりこまあそびをし  
ました。こまができました。こまがねいなな  
にこまをおしえてあげました。



れりたはしりてまか5点  
でしつそして三ボトルの  
サアターのおかしをもちました

●デジタルアーカイブ展示・昔あそびコーナー 藤盛麗奈記者(年長)、長坂瑚子記者(小1)

安藤編集長から一言

どのグループもしっかり取材し、最後まで熱心に記事づくりに取り組んでいました。Aグループ(年長・小1)は、文章と絵とそれぞれ得意の分野で力を出していました。B、Cグループ(小3、小4)さすがに、表現力がぐっと向上しています。どちらも文章や絵がきちんと書けていましたし、レイアウトもうまくまとまっています。読みやすいです。おわりに、グループを指導して下さった学生、放課GO→指導員や有志の皆さん、編集部の方々に感謝。

Cグループ

木のきの黒く丸いもようは、  
木が何さいかを表しています。  
す。とても涼しいので、  
ぜひ使ってみてください。



ひのきのキーホルン  
ダーのせつ明  
これはひの  
このキーホ  
ルダー作りのは  
いいですよ  
キリムはトルコのおみもの  
です。羊のけであみものです。  
トルコ人はキリムをおよめ道  
具にも使ったし神様がやどて  
りました。

●ウッディランド「わくわく木工体験」輪い輪いまつり(展示・発表) 田中言都記者(小3)、長坂剛次記者(小3)

区からのお知らせ

小中一貫教育校「白金の丘学園」が平成27年4月に開校します!!

平成27年4月、三光小学校・神応小学校・朝日中学校の3校を統合し、新たに小中一貫教育校「白金の丘学園」が開校します。校舎の工事期間中、地域の皆様には多大なご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございました。これからも児童・生徒をあたたく見守ってくださいますようお願いいたします。



新校舎の外観(手前が校庭、奥が校舎)

●校歌が完成しました●

作詞作曲は、白金高輪地域で生まれ育ち、現在もこの地域に住居及び事務所を構えるなど、地域との縁が深い音楽家の都倉俊一氏です。校歌の歌詞は、白金の丘学園のホームページ(<http://www1.r4.rosenet.jp/sanko-es/ikkan1.html>)で掲載しています。ぜひご覧ください(朝日中学校、三光小学校、神応小学校の各ホームページから入れます)。

●校章が決まりました●

校章のデザインは図のとおり決定しました。新たに開校する白金の丘学園のシンボルとして、子どもたちの健全な成長と育成、地域とともに飛躍する姿を表現しています。



たかなわ子どもカレッジ、登録者募集中

みんなの『あそび場』オープン中

東海大学高輪キャンパスにみんなの『あそび場』がオープンしました!!  
みんな遊びに来てね!!!

**オープン** 毎週、火曜日・水曜日・金曜日の14時45分～18時00分に開いています。

**対象** 小学校1年生～6年生(男・女)

**場所** 東海大学高輪キャンパス(高輪2-3-23)

**どんな所** 1号館3階、1301号室と1302号室  
みんながくつろげる場所です。

盤ゲーム、UNO、人生ゲームなどで遊ぶことができます。

**参加申込** また体育館で運動したり、大学内を探検したりします。  
たかなわ子どもカレッジに参加するには登録が必要です。  
登録用紙は、高輪子ども中高生プラザにあります。

必要事項を記入し、高輪子ども中高生プラザで登録手続きをお願いします。

◆登録用紙に記入する事項◆

氏名(ふりがな)・性別・住所・生年月日・学校名・学年・保護者名・連絡先・緊急連絡先



遊び場で戯れる



電子回路教室

<問い合わせ> 高輪子ども中高生プラザ 高輪1-4-35 ☎03-3443-1555

平成26年度港区総合防災訓練(高輪会場)を開催しました

平成26年10月26日(日)午前9時30分から高松中学校で、港区総合防災訓練(高輪会場)を実施しました。港区が主催し、高輪消防署、高輪警察署、高輪消防団、港区赤十字奉仕団、高輪地区防災ネットワーク、防災関連事業者などの関係機関の協力で行なわれ、998名の地域の皆さんが参加しました。

今年の高輪会場では、防災関連事業者19社の協力で「防災展」を開設し、参加者の「なにを備えたらいいの?」といった疑問に答えるとともに、自らの命は自ら守る「自助」の重要性を呼びかけました。また、マンション対策や子育て世帯向けのブースを設置し、さまざまなニーズ合わせた防災対策を紹介しました。子どもたちは、地域大学生防災ボランティアが企画・運営した「ぼうさいすごろく」などで、防災について楽しく学びました。



消火器取り扱い訓練



暮らしの安全コーナー

編集だより

▼新駅設置に伴う高輪地区の将来像に夢を描くとともに、今まで地域で培われた歴史や文化の蓄積を大事にしたいと思えます。(安藤)

▼地域のために頑張ってくれている若者たち。私心のない爽やかな言葉に、日本の未来はともにも明るいと感じました。(梶)

▼ウズベキスタンのドライフルーツは、風があたらない場所で陰干しして作られる為、しっとりグミのような口当たり。美味しいですよ。(森)

▼都心でありながら寺院の門、塀、本堂や墓地など、江戸時代よりの雰囲気を保ち続けている歴史ある寺町に感動しました。(明石)

▼どちらのご住職様方も、とても熱心にお話し下さり、大変ありがたかったです。いつまでも貴重な私たちの財産が残りますように。(伊関)

▼今号は、紙面雰囲気もスッキリし、記事も素晴らしいです。是非、じっくり読んでもらえればと思います。(河井)

▼初めて本格的な「取材」を経験しましたが、やってみなければわからない、その大変さと興味深さを実感しています。(川上)

▼地域の一防災士としても、この地区の古い建造物などの防災への想いを喚起せざるをえませんでした。(河村)

▼ウズベキスタン、シルクロードのオアシス都市に思いを馳せた。いつか、是非訪ねてみたいですね。(滝川)

▼義士祭にまつわる豆知識の取材に参加し、舞台と裏方の双方の力でこのイベントが支えられている様子を垣間見ました。(土屋)

▼高輪に在住30余年。義士祭は知っていても、泉岳寺や数多くのお寺にある貴重な文化財は知らない。文化財宝庫の高輪に感嘆しました!(本城)

▼大学へ行く途中、取材でお会いした方に声を掛けていただきました。地域の方と繋がることはうれしいですね。(増田)

▼地域のために色々な活動をしている方々が沢山いらっしゃることに感動します。そんな活動の一部でもご紹介できればと思っています。(松島)

▼品川、田町間にできる新駅の構想を聞き、2020年ごろには高輪地域がどのように変わるのか今から楽しみです。(吉田)

▼校章が決定し、校歌も完成と聞く『白金の丘学園』。新しい制服の子どもたちの姿も楽しみにしています。(渡邊)

区民編集メンバー

- 安藤 洋一(チーフ) 川上 智子 増田 祐輝
- 梶 昌夫(サブチーフ) 河村 保弘 松島 佐紀子
- 森 裕子(サブチーフ) 立川 元紀 吉田 由紀子
- 明石 美穂子 滝川 まりえ 渡邊 義信
- 伊関 則子 土屋 和夫
- 河井 一彦 本城 光子

※この情報紙は、区が公募し応募のあった地域住民と、区との協働でつくられています。

毎週水曜日は午後7時まで受付

※取扱業務は限定されます。

事前にご確認ください。

区民課窓口サービス係

☎5421-7612 / 保健福祉係

☎5421-7085